

子ども達の未来のために



加東市では、この三月に、急速に進む少子化に対する総合的な取り組みとして、「加東市次世代育成支援行動計画」を策定しました。そして、この計画を推進するために、今年度から新たに「子育て支援課」を設置しました。今後は、子育て施策をさらに充実させ、子ども達が未来に夢と希望を持てる加東市をめざします。

人口の推移

	総人口	年 齢 区 分 別 人 口					
		年少人口 (15歳未満)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
			構成比		構成比		構成比
昭和55年	34,275人	7,635人	22.3%	22,221人	64.8%	4,419人	12.9%
昭和60年	36,401人	7,807人	21.4%	23,734人	65.2%	4,857人	13.3%
平成2年	38,270人	7,531人	19.7%	25,137人	65.7%	5,598人	14.6%
平成7年	39,743人	7,145人	18.0%	26,071人	65.6%	6,527人	16.4%
平成12年	40,688人	6,628人	16.3%	26,591人	65.4%	7,448人	18.3%
平成17年	39,970人	6,255人	15.6%	25,455人	63.7%	8,104人	20.3%

資料：国勢調査(数値は旧3町合計によるもの。) 年齢不詳者があり、年齢区分別人口の内訳と総人口は一致しません。

子ども達が健やかに生まれ育つ社会に

加東市次世代育成支援行動計画は、「子育て子育て支援タウンかとう」を基本理念としました。子どもが健やかに生まれ育つまち、安心して子どもを育てることが出来るまち、地域みんなで子育て家庭を支えるまちを目指し、「子ども」、「家庭」、「地域」の三つの視点から、必要な子育て支援の具体策を示しています。

問い合わせ

福祉部子育て支援課(社庁舎)

☎ 43・0408

進む少子高齢化

加東市の総人口の推移をみると、平成十二年までは増加傾向にありましたが、平成十七年には減少に転じています。

年齢区分別人口の推移を見ると、十五歳未満の年少人口は減少傾向にある一方、六十五歳以上の高齢者人口は大幅に増加しています。高齢者人口が総人口に占める割合(高齢化率)は、平成十七年には二〇・三%に上昇しており、平成十七年の全国平均二〇・一%、兵庫県平均一九・八%よりも高い割合となっています。

視 点

基本目標

子ども

すべての子どもが健やかに育つ環境づくり

子どもの豊かな心を育む環境の充実特に支援を必要とする児童へのきめ細かな対応

家庭

すべての親が安心して子育てをするための支援

安心して子育てができる環境づくり子育てと仕事の両立の推進

地域

みんなで子育てを応援していくまちづくり

地域の子育て応援の輪づくり子どもが安心・安全に暮らせるまちづくり